

図書館だより

2024.3

牛久栄進高校図書館

春らしい穏やかな日差しの日が増えてきました。桜のつぼみも膨らみ始めていますね。間もなく春休みですが、新2年次生、新3年次生になるための準備は進んでいますか？図書館では、卒業した3年次生と入れ替わり、毎朝20名前後の1・2年次生が読書や学習に勤しんでいます。席にはまだ余裕がありますので、新年度に向けて「朝読・朝学」の習慣を身につけたい人は積極的に利用してみましょう！



◇図書の出借・返却、春休み中の図書館の利用について



図書館の本の返却期限は、3月29日（金）までとします。

年度末に新年次・クラスの名簿に切り替える関係上、いったん返却してください。

新年度の貸出開始は、4月8日（月）です。



春休み中の図書館の利用について

○開館日…平日の8:30（解錠7:30）～17:00

○閉館日…4月1日（月）



◇データで見る Eishin Library～令和5（2023）年度の振り返り～

○貸出総数…774冊（2024/3/19 現在）

※内訳…1年224冊、2年167冊、3年208冊、教職員175冊

○分野別貸出数…「文学」435冊、「自然科学」66冊、「社会科学」64冊、「言語」61冊、
「芸術・美術」60冊など

○Eishin 貸出ランキング（2023/4/1～2024/3/19）

第1位	凧良ゆう『汝、星のごとく』	8回
第2位	夕木春央『方舟』、町田そのこ『52 ヘルツのクジラたち』	7回
第3位	『でる順パス単英検2級』、『英検2級過去6回全問題集 2023年度版』	6回
第4位	『英検2級過去6回全問題集 2021年度版』、『でる順パス単英検準1級』 結城真一郎『#真相をお話しします』、寺地はるな『川のほとりに立つ者は』	5回
第5位	町田そのこ『宙（そら）ごはん』、辻村深月『かがみの孤城』、呉勝浩『爆弾』、 安壇美緒『ラブカは静かに弓を持つ』、西加奈子『くもをさがす』、 奥村清次『医系小論文入試頻出17テーマ』、凧良ゆう『流浪の月』、 イザベラ・ディオニシオ『平安女子は、みんな必死で恋してた』、 坪田信貴『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』 雨穴『変な家』、辻芳樹編『料理の仕事がしたい』、川上未映子『黄色い家』、 杉井光『世界でいちばん透きとおった物語』	4回
第6位	中島 敦『山月記』、辻村深月『この夏の星を見る』、『理学療法士の一日』、 黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん 続』、若林正恭『ナナメの夕暮れ』など多数	3回

たくさんの利用、ありがとうございました！次年度も多くの新刊本や話題の本を入荷予定です。
また、購入リクエストも随時受け付けています。

“A book is a dream that you hold in your hand.” ニール・ゲイマン（イギリスの作家）
「本とは、あなたが手に抱える夢である。」

◇「2024 本屋大賞」を予想してみよう！

「2024 本屋大賞」ノミネート 10 作品の中から1位～3位を当ててみよう！
見事正解した人にはささやかな品を進呈します。奮って応募してください。
右のQRコード、またはアドレスからアクセスして、Formsで回答してください。
締切は4/5（金）まで。本屋大賞発表は4/10（水）の予定です。
※回答は1人1回のみ（訂正は不可）。



ノミネート作品は以下の10作品です（作品名五十音順）。 <https://forms.gle/HZWvSv5bUMYjrAtQ8>

川上未映子『黄色い家』中央公論新社
小川哲『君が手にするはずだった黄金について』新潮社
津村記久子『水車小屋のネネ』毎日新聞出版
夏川草介『スピノザの診察室』水鈴社
塩田武士『存在のすべてを』朝日新聞出版
宮島未奈『成瀬は天下を取りにいく』新潮社
知念実希人『放課後ミステリクラブ 1金魚の泳ぐプール事件』ライツ社
凧良ゆう『星を編む』講談社
青山美智子『リカバリー・カバヒコ』光文社
多崎礼『レーエンデ国物語』講談社



◇本屋大賞 2024 ノミネート作品紹介②～5冊ずつ紹介～

成瀬は天下を取りにいく

宮島 未奈

夜の学校。プールに放たれた金魚。だれが、なんのために？
4年1組の辻堂天馬・柚木陸・神山美鈴、通称「ミステリトリオ」が先生の依頼で動き出す！
「ぼくは読者に挑戦する」名探偵・辻堂天馬の挑戦に、キミはこたえられるかー？
(ブックカバーより引用)
放課後ミステリクラブ特設サイト
https://wrl.co.jp/2023/06/05/mystery_club_1/

星を編む

凧良 ゆう

新築分譲マンション、アドヴァンス・ヒル。近くの日の出公園にある古びたカバの遊具・カバヒコには、自分の治したい部分と同じ部分を触ると回復するという都市伝説がある。人呼んで、「リカバリー・カバヒコ」。アドヴァンス・ヒルに住まう人々は、それぞれの悩みをカバヒコに打ち明ける。急な成績不振に悩む高校生、…
<https://www.shinchosha.co.jp/book/355311/>より引用

レーエンデ国物語

多崎 礼

異なる世界、西ドイツの聖イジヨルニ帝国。母を失った領主の娘・ユリアは、結婚と淑やかさのみを求める親族から逃げ出すように冒険の旅に出る。呪われた地・レーエンデで出会ったのは、琥珀の瞳を持つ寡黙な射手・トリスタン。
<https://leende.kodansha.co.jp/>より引用

中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといのだが……。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭にし、二百歳まで生きると堂々宣言。今日も全力で我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない！
<https://www.shinchosha.co.jp/book/354951/>より引用

1金魚の泳ぐプール事件

知念 実希人

第20回本屋大賞受賞作『汝、星のごとく』続編
花火のように煌めいて、届かぬ星を見上げて、海のように見守って、いつでもそこには愛があった。
ああ、そうか。わたしたちは幸せだったのかもしれないね。
<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000379789>より引用

リカバリー・カバヒコ

青山 美智子

◇新着本紹介～「小論文対策」に役立つ岩波新書特集～

隈研吾『日本の建築』	村上隆『文化財の未来図—〈ものづくり文化〉をつなぐ』
原田信男『豆腐の文化史』	西野智彦『ドキュメント異次元緩和—10年間の全記録』
田淵旬美子『百人一首一編纂がひらく小宇宙』	小島博己編『耳は悩んでいる』
飯島渉『感染症の歴史学』	岡野八代『ケアの倫理—フェミニズムの政治思想』
中野博文『暴力とポピュリズムのアメリカ史—ミシリアがもたらす分断』	千葉勝美『同性婚と司法』
大月康弘『ヨーロッパ史—拡大と統合の力学』	神野直彦『財政と民主主義—人間が信頼し合える社会へ』
きたやまおさむ『「むなしさ」の味わい方』	姫岡とし子『ジェンダー史 10講』